Tabとインデント

学籍番号　　自分の名前

まず、「ホーム」→「段落：編集記号の表示／非表示」をオレンジ色に設定し、「表示」→「表示／非表示：ルーラー」にチェックを入れて下さい。

０１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６７８９

123456abcde

あいうえおかきくけこ

1234567890abcdefg

あいうえおかきくけこ

見出し1左右のインデントは3字です。「見出し1」の先頭は4文字目になります。

見出し2ぶら下げは7字です。左インデントが3字、ぶら下げが7字なので、タブ位置を設定しなくても3+7=10字にタブ位置が自動設定されます。

見出し31行目にtabを入れると、2行目と先頭が揃います。このパターンは、箇条書きなどにも使われます。

(1)試験問題を作成するときもこのパターンを使います。問題番号の後に文章が続いて2行以上になるとき、(1) の後にtabを入れて左端を揃えます。ぶら下げは2字です。

(2)tabではなくスペースを入れて、1行目と2行目以降の文章の左端を揃えようとすると、ぶら下げインデントが整数にならず、試行錯誤して決めないといけないので、厄介です。

(10)タブとぶら下げインデントを使うと、数値が2桁になっても大丈夫です。ただし、場合によってはWordの文字詰め機能のため、左端が揃わないことがあります。

タブを設定するとき「配置」を「右揃え30字」に設定

この行も同じく右揃え30字です。先頭にtab文字があります

この行も同じです。右端が揃います

０１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６７８９